



住みよい町づくりへ
議会と住民をつなぐ

第**51**号

平成23年10月20日

河津町議会だより



わかば保育園運動会

主な内容

- 平成23年第3回定例会（要旨）…………… 2～3 P
- 町長行政報告…………… 4～5 P
- 一部事務組合報告…………… 5 P
- 一般質問…………… 6～9 P
- 議長の主な活動、私も一言 他…………… 10P

平成23年 第3回定例会 (要旨)

平成23年度第3回定例会は9月8日から9月15日まで開かれ、初日は町長の行政報告につづき、4名の一般質問が行われた。2日目からは、報告案件3件、条例案件3件、補正予算2件、決算認定10件、各議案が審議された。決算10議案は決算審査特別委員会に付託され、審査の結果、意見書を附帯し認定。他の議案は原案通り可決承認採択された。

可決された補正予算、その他

●平成22年度決算に基づく河津町健全化判断比率の報告

平成23年度に公表する健全化判断

●平成22年度決算に基づく河津町公営企業の資金不足比率の報告

平成23年度に公表する資金不足比率

●専決処分の報告

車両事故による和解及び損害賠償の額を定めることについて

●昭和48年度固定資産税及び都市計画税の納期の特例に関する条例等の廃止

昭和48年度固定資産税及び都市計画税の納期の特例に関する条例等を廃止する条例

●河津町暴力団排除条例の制定 河津町暴力団排除条例

●河津町税条例等一部を改正する条例

河津町税条例等の一部を改正する条例

●平成23年度河津町一般会計補正予算（第4号）

歳入歳出の総額に歳入歳出それぞれ60,525千円を追加し、総額を3,577,499千円とする。

●平成23年度河津町介護保険特別会計補正予算（第2号）

歳入歳出の総額に8,856千円を追加し、総額を712,717千円とする。

決算審査特別委員会

決算10議案を審査認定

平成22年度決算10議案（河津町一般会計、河津駅前広場整備事業特別会計、河津町土地取得特別会計、河津町国民健康保険特別会計、河津町老人保健特別会計、河津町介護保険特別会計、河津町後期高齢者医療特別会計、河津町国民宿舎「かわづ」運営事業特別会計、河津町水道事業会計、河津町温泉事業会計）は、決算特別委員会（宮崎啓次委員長）に付託された。総務課、町民生活課、保健福祉課、産業振興課（農業委員会を含む）、建設課、教育委員会、議会事務局（選挙管理委員会、監査委員会含む）に関する事務をそれぞれ決算審査した。決算審査特別委員会は、意見書を附帯して認定すべきものと決定した。本会議上、宮崎決算審査特別委員長の報告を受け、全員賛成で認定した。

平成22年度決算審査特別委員会附帯意見書

1. 自主バスの試験運行の成果を、早期にデマンド交通等に反映させるよう努力されたい。
2. 町税、占用料等の徴収につき、不納欠損とならないよう最大限努力されたい。
3. 耕作放棄地の拡大が進んでいる、農協等関係団体と協力して抜本的な対策を講じられたい。
4. 町内の観光施設は、町民利用及び観光対策として効率良い運営を検討されたい。
5. 河津桜育成保護について、将来ビジョンを作成されたい。

平成23年河津町 第2回臨時議会

7月21日に第2回臨時会議は以下の議案を可決した。

報告第4号

専決処分の報告について

車両事故による和解及び損害賠償の額を定めることについて
損害賠償額82,288円を損害保険で支払う。

議案第50号

和解及び損害賠償の額を定めること
町有地枯木が倒れ、自家用車を破損
損害賠償額2,251千円で和解・賠償

議案第51号

平成23年度消防ポンプ自動車(第5分団)購入契約について
18,847千円で株式会社畠山ポンプ制作所と契約

議案第52号

平成23年度河津町一般会計補正予算（第3号）
歳入歳出それぞれ10,284千円を追加し、総額をそれぞれ3,516,974千円とする。

第3回定例会 町長の行政報告 (抜粋)



●平成22年度決算

普通会計決算額は、歳入39億6,912万2千円(対前年比8.3%減)歳出37億7,408万5千円(対前年比7.6%減)歳入、町民税(対前年比2.7%増)、固定資産税(対前年比1.6%増)、国庫支出金、交付税事業の終了に伴い大幅な減、目的別歳出では、農免農道、交流館等、建設関係等の事業終了により減、性質別歳出では、戸籍電算化関連事業、車両等購入事業の終了により減、補助費等は定額給付金事業の終了により減、積立金は財政基金に2億8千万円積み立てた事で増、健全化判断比率は11.3%、将来負担比率は50%、公営企業の健全化判断比率も黒字、当町の財政は健全財政である。

●総合防災訓練

東海地震が突発的に発生した事を想定して実施、中学生204人、高校生133人を含む4,253人が参加。

●津波対策

東日本大地震で大きな津波被害が発生したことを踏

まえ、町内の海拔測量を実施、この結果をもとに町内に看板等で海拔表示を行う。

●河津バガテル公園在り方検討会

河津バガテル公園の在り方と、運営方法に関する提言を求めるために設置、5月から7月まで5回の会議を開催し、その結果が町に提出された。

●住宅用太陽光発電システム助成事業

住宅太陽光発電設置補助、1件あたり最高4kw20万円を限度として補助、東日本大震災後、太陽光発電等の再生可能エネルギーへの注目が高まっている。

●温泉会館在り方検討会

温泉会館の今後の在り方と施設の有効活用につき、11人の委員で構成され、両温泉会館の今後の方向性を提言していただく。

●ふれあい町長室の開設

町民本位の町づくり推進のため昨年度は、地区懇談会を開催したが、本年度は、さらに多くの町民の声を町政に反映させる手段としてふれあい町長室を開設。

●放課後児童クラブ

放課後児童クラブを、7月から、南小体育館2階に開設、7月・8月で延べ297人の利用。

●保健福祉関係の新規事業

子育て環境の充実と少子

化対策として、「子育てファミリー住宅整備支援補助」と「不妊治療費助成」の2つの制度を創設した。

●有害鳥獣害対策

伊豆地域有害鳥獣対策連絡会で、猪、鹿の捕獲機材を購入、被害地区や農家へ貸し出しを行う。

●夏の観光状況

海水浴場の入込みは、今井浜で40,092人(前年比27.4%減)河津浜で3,501人(前年比45.6%減)、温泉施設では、見高入谷高原温泉で8月末で2,138人、踊り子温泉会館が27,087人(前年比12.0%減)、サンシップ今井浜が12,999人(前年比18.2%減)となった。

●秋の観光誘客宣伝

緊急誘客事業として9月15日から来年1月15日まで、「河津の温返しキャンペーン」として都内及び名古屋で実施、「河津秋まつり」は11月20日から12月10日、河津七滝、湯ヶ野、峰温泉大噴湯公園、見高入谷高原温泉でイベントとして開催。

●観光施設整備事業

浜菖蒲沢公衆トイレ整備工事は、東海建設(株)が落札し1,467万9千円で契約した。谷津地区(南禅寺)観光施設整備事業作業道路整備工事は、(株)第一工房が落札し、740万1,450円で契約した。

●中小企業災害対策貸付金利子補給事業

当町が真っ先に取組んだ事業、4月より9月末日まで受付中。

●道路、河川、橋梁維持事業

町道浜下小路、下川原田線道路側溝改修工事、(有)加畑組が落札し735万円で契約、町道笹原前田1号道路側溝改修工事、(株)大塩組が落札し483万円で契約、河津町橋梁点検及び長寿命化修繕計画策定業務委託、大日本コンサルタント(株)静岡営業所が落札し357万円で契約、町道大堰笹原線舗装補修工事、丸三工業(株)が落札、304万5千円で契約。

●水道事業

大堰浄水場改修工事設計監理業務委託、一級建築士事務所野田建築事務所が落札し322万3,500円で契約、川横地区水道管布設工事設計業務委託は、日本水工設計(株)静岡営業所が199万5千円で落札し契約した。

主要地方道下佐ヶ野谷津線水道管橋梁添架工事設計委託業務は、日本水工設計(株)静岡営業所が落札し273万円で契約した。

●小学校プールの放射能の測定結果

7月に実施した町内小学校のプール水の放射能測定の結果、放射能は検出されず、安全であることが確認された。

●登録有形文化財

下峰地区にある旧木村家住宅主屋が、国の文化財として正式に登録となり、貴重な文化財として保護される事となった。

●教育委員会関係の入札結果

地域活性化臨時交付金繰越事業のうち、河津中学校体育館防水工事は、(株)大塩組が落札し975万4,500円で契約、南小学校体育館屋根改修工事は、東海建設(株)が落札し975万4,500円で契約、河津中学校外周フェンス改修工事は、東海建設(株)が落札し313万9,500円で契約、文化の家読み聞かせ増築工事は、(株)大塩組が落札し918万8千円で契約した。

一部事務組合議会報告

下田地区消防組合議会

8月30日に開催された組合議会で、下田市、南伊豆町の両市町で議員改選に伴い、議長以下、新組合議員の承認をし、22年度決算を主とした各議案を審議した。人事の主なものは…議長・森温繁(下田市)、副議長・宮崎啓次(河津町)、監査委員・谷正(南伊豆町)を選任。業務実績は、救助が8件で4件増、救急は河津分署238件20件増。住宅用火災警報器は普及率65.6%。高規格救急自動車を河津分署に配備。AED設置は、下田市38、南伊豆町36、河津町18で、河津町の補充が課題。

伊豆斎場組合議会

8月31日下田市で8月定例議会が開催された。河津町を除く選出議員改選後の初議会のため、議長に下田市の土屋忍議員、副議長に南伊豆町の稲葉勝男議員、監査委員に東伊豆町の山本鉄太郎議員を選出した。

平成22年度伊豆斎場組合会計歳入歳出決算認定について、歳入45,159,170円、歳出42,287,831円で差引残高2,871,339円を翌年度繰越す決算を認定した。平成23年度補正予算は歳入歳出それぞれ、3,005千円増額し総額45,462千円とした。

共立湊病院組合議会 8月31日定例会

管理者より22年度の事業報告と、新病院の建設工事は年度内に完成する予定との報告がされた。新議長に長田美喜彦議員(南伊豆町)、副議長に藤井廣明議員(東伊豆町)が指名推薦された。一般質問の後、7件の議案審議があり、何れも可決承認された。主な案件は22年度の病院会計、特別会計の決算について。23年度の1号補正予算は病院跡地に診療所建設費として約3,000万円の上程、又地域医療の在り方や跡地利用について調査研修のため特別委員会設置について等である。

観光振興の方向性について

町長－ハード事業からソフト面充実へ

質問…厳しい経済状況が続いているが、主産業である観光産業の、中・長期対策が必要。又、宿泊施設の充実指導も含め、滞在型観光地も視野に入れた対策は。

町長…中・長期計画は、来年度南禅寺の観光整備事業で大きなハード事業は、一時終了。今後は、施設、自然、温泉、歴史、文化、食材等の活用によるソフト的事業の充実を図る。宿泊対策は、ウォーキング大会等イベントの実施により取り

組む。又、地域活性化事業補助金制度があるので、町民の皆さんに、活用していただきたい。

質問…キャンペーン実施に伴うデータの収集は。観光勉強会の実施は。庁内観光の名称の使用は。

町長…チラシにマーケティングをし、付加価値をつけ、データの収集をする。庁内、観光名称は良いネーミングがあれば検討する。観光関連業務は、勉強会も含め、しっかり取り組む。



河津桜観光交流館ビール祭り

河津桜対策、企画宣伝対策

町長－原木2世の育成、イベントに補助

質問…河津桜は町の大切な財産です。保護、育成も含めた計画はあるのか。観光企画、宣伝は皆さんの意見の、まとめ役が必要である。町として対応ができるか。

町長…原木は直系2世の育成に取り組んでいる。下峰地区では桜山として作業を

含め保護と育成活動をしていただいている。今後は風土の森も含めた桜の里山づくりにも取り組みたい。企画、宣伝については、実行委員会等に於て、多くのイベント企画の提案をいただき、町としても県の補助制度も活用し、取り組みたい。



渡邊 弘 議員

伊豆縦貫道状況 交通網利用対策は

町長－県知事と共に 大臣に要望

質問…国土交通省の道路建設判断基準に、防災手法を加えた基準の見直しをするとのこと。ぜひ伊豆縦貫道の早期着工を願う声を上げていただきたい。イベント等の実施に伴い、近隣市町より集客の為にも、伊豆急行、東海バスの協力をし誘客対策に取り組めないか。

町長…2つの促進同盟会で、要望活動を行っている。過日、県知事も含め国土交通省の大臣に、河津の事業促進の願いをした。防災の関係もあるので、要望活動を続ける。交通網利活用は、伊豆急行、東海バスと、協力しながら割引等取り組んでいる。今後は、イベントに合わせ誘客対策を考え検討をし取り組みたい。

バカテル公園の23年度事業計画は

町長－大変厳しい 環境化マイナス予算

質問…21年度2,000万円、22年度3,000万円の支援をしている。23年度事業計画の内容は。

町長…当初震災の影響を見ることなく黒字予算を立てたが、取締役会の指摘を受け、組み直しマイナス予算となった。

質問…23年度売上2億7,800万円（前年比122.9%）。経営利益▲1,984万円となっている。昨年7月に出された経営診断書は生かされているのか。

町長…この診断書は経営戦略、財務戦略、組織人材分析の3つが要点である。ゲートの移設・人園料金や飲食・物販部門等の見直しから、指定管理料・責任者及び組織再編と多岐にわたる提言がされている。

質問…事業計画は達成しても赤字計画である。現状の収支はどうか。

町長…バガテル公園のみで見ると、7月末経営利益約633万円の黒字（前年比111万円の減）。ゲート移転後は入園者も増え、売上も増加している。

在り方検討会の 提言内容は

町長…経営の改善策として、常勤の経営責任者の配置。

質問…在り方検討会の答申

をどのように受け止め、どう対処していくか。

町長…検討会の答申に1年の指定管理期間とある。これは、しっかりとした再建計画を立てるということ。その上で(株)河津バガテル公園に指定管理を。

高齢者対策を どう考えるか

町長…施設の充実と在宅介護に重点をおいたサービス基盤整備。

質問…今年度で第4次介護計画が終了する。その評価はどうか。第5次の計画を策定にどう生かしていくのか。

町長…河津町も高齢化率が33%を超えた。国、県の指針に基づき、賀茂圏域の調整を踏まえ、第5次介護保険計画を策定する。

保険福祉課長…第4次は包



土屋 貴 議員

括支援センター業務の充実、いきいきセンターの活用などを通じて在宅での予防に成果を上げている。第5次については、11月に委員会を立ち上げ3月には完成させたい。

質問…河津町健康増進計画にあるヘルスプロモーションを基に策定してほしい。また、保険料も大きな負担になっている。予防介護を中心に総合的計画を。

町長…健康維持の支援をはじめ生涯学習による脳が動けば体も自然に動きます。広い視野で介護予防に取り組みたい。



河津バガテル公園

浜岡原発について

町長－再稼働は止むを得ない

質問…河津町は浜岡から直線で80km。もしここに重大な事故が起きた時、町への影響をどう考えるか。浜岡原発は永久停止・廃炉との世論があるがどう考えるか。
町長…事故が起き、西風が吹いたとすると数時間で原子力発電所からの物質がとんでくる可能性は十分にあるだろう。放射性物質が及

ぼす影響を心配する。町長会に於ても国や県に、浜岡で事故が起きた時の被害想定・対策マニュアルを早急につくるように要望をしている。それが出来次第、当町でも安定ヨウ素剤の備蓄という対応もしたいと思っている。原発の稼働については全国的に不透明な状況で、大きなハードルがある



自然エネルギーについて

町長－太陽光・水力・風力など関心は高い

質問…自然エネルギーについてどう考えるか。太陽光発電補助事業の状況は。
町長…県が伊豆住民対象にアンケート調査をした。うち約8割の方が自然エネルギーの利活用は重要との回答があった。当町では幼稚園・小学校で太陽光発電を設置し環境教育を実施。
まちづくり推進課長…太陽光発電補助事業の交付状況

は22年度5件808千円の利用。23年度は現在5件84万円の申請がある。これから申請予定の方もいる。問い合わせも多い。
質問…住宅用発電の設置に標準200～250万円の費用として、補助額はどの位か。
まちづくり推進課長…町・県・国と合わせると（条件は異なるが）約70万円くらいの補助。



小林和子 議員

が、安全性を確認し、地元・県の同意があれば浜岡原発の再稼働は止むを得ないと考える。

子育て支援対策は

町長－生んでよし 育ててよしの河津郷を

質問…子育てサロンの利用状況は。子育て支援対策は乳児・幼児・学童・生徒まで広汎に整えられてきている。評価をする。

町長…サロンは好評でよく活用されている。将来的には子育てサロン・放課後児童クラブの施設の充実を考える。「子育て理想郷ふじのくに地域モデル事業」県の補助制度に指定された。これからも子育て支援に取り組んでいく。

保健福祉課長…利用状況は昨年10月～7月まで160日間の運営で子ども1,742名、保護者1,165名。平均すると子どもは1日約11名の利用。

バガテルの経営責任は

町長－責任を感じている

質問…平成22年度の決算末で20年度より建物減免、21年度より土地の減免及び指定管理料を払わない場合は累積赤字額は1億8,800万円となる。もはや倒産状態である。一日も早く増資するか、会社を清算するか検討すべきと思う。

町長…51%の出資責任が町にあり専務取締役を置くこ

とによりもう一度再建の可能性を探りたい。

質問…(株)バガテル公園は清算し町営施設として経営すべきと思うが。

町長…土地の借地料、建物賃貸料指定管理料を合計すると1億数千万円の費用が見込まれ、とても無理である。町民の理解がえられない。

三筋山風力発電の計画状況

町長－県は保安林の解除と低周波の問題が秋までに結論がでるとしている。

質問…三筋山の風力発電は自然エネルギー買取法案の成立により前進すると期待される。静岡県・東京電

力・町の方性性は。

町長…県は有識者会議、森林審議会、地元の意向を勘案して結論を出す。東京電

共立湊病院の赤字補填は

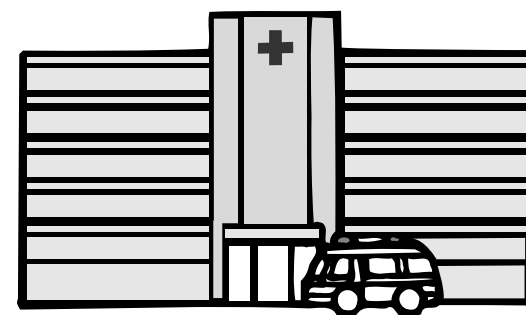
町長－市町が赤字補填はしない

質問…常勤医師13名の予定が現在4名、看護師も不足、入院患者も予定の1／2程度で推移しており23年度決算では3億5千万前後の赤

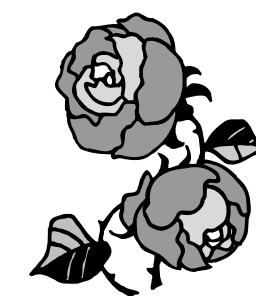
字が予想される。現金残高も著しく減少する為市町村の負担が必要である。今後の赤字補填の見通しは。

町長…SMAの契約では一般的には負担はしないことで確認している。

質問…旧南高跡地に建設途上の下田メディカルセンターは来年5月の開院予定である。SMAの病



坪井弘司 議員



力は震災で大変厳しい経営環境であるが計画どおり推進する。町は搬入道路の建設に伴う林業振興、農業振興、観光施策等を行いたい。見高入谷、見高浜の反対はないので推進する。

院経営は8月の組合議会上半期の収支予定すら提出されない状況で、1市5町の中核病院として2次救急の責任も果たせない状況である。今後が大変心配だ。一日も早く「共立湊病院組合」を河津町は退会すべきと考えるが。

町長…収支の見通しは管理者、副管理者からも出ていない。当初予算で9千万の赤字見通しと聞いている。1市5町で今後も運営し一部事務組合から脱退しない。



土屋 桑太郎 議長

議長の諸般の報告と議会の動き

6月

- 18日 全国食育大会 ふじのくに食育フェア(三島市)
 21日 5月分例月出納検査結果報告書を受ける
 27日 町内夏季対策連絡協議会(役場)

7月

- 1日 放課後児童クラブ開所式(南小)
 11日 夏の交通安全街頭広報(湯ヶ野)
 12日 議会広報編集委員会
 16日 今井浜海水浴場海開き
 21日 河津町議会第2回臨時議会

経済懇話会(商工役所)

- 22日 後期高齢者広域連合定例会(静岡市)
 6月分例月出納検査結果報告書を受ける

- 27日 郡議長会(東伊豆町)

8月

- 9日 市町議会議員研修会(静岡市)
 18日 温泉会館在り方検討委員会(第1・2常任委員長と共に)
 19日 田中バイパス新橋名称選定委員会

- 22日 国道414号期成同盟会要望活動(静岡市)

7月分例月出納検査結果報告書を受ける

- 24日 議会全員協議会

- 31日 河津駅前広場管理運

営委員会(第1・2常任委員長と共に)

9月

- 5日 議会運営委員会

- 7日 高速道路整備推進全国大会(東京都)

～私も一言～

『子育てサロン・チョコット』ができたのは昨年の10月です。開設して、1年になります。この1年でたくさんの子供達と保護者の方、祖父母の方々に利用していただいています。先日、このようなお話しをしてくださった方がいました。「子供と2人で家の中にいるよりも、ここで遊ばせてもらった方がお互いにとても良いのです。」この場は子育てをするおかあさん方にとって、必要な場所なのだとということが伝わってきました。子育てに行き詰った時、自

分の気持ちをどの様にコントロールしたらよいかわからない時、ふと立ち寄れるその様な場所なのだ…サロンには家庭とは違った玩具(手・心に優しい木の素材など)があったり、お友達がいたりするため、子供達は自分から遊び出します。ママ同士、様子を見ながら、子育てについてのおしゃべりもできます。子育てをする家族にとって、とても優しい場所『チョコット』にぜひちょこっとお寄りください。そこからきっと子育ての喜びが生まれることでしょう。

くれよんクラブ 鈴木 雅 孔

議会一口メモ

地域資源活用事業補助制度

23年度の新規事業である。沢田涅槃堂開帳60周年事業と谷津南禅寺の事業2つが

予定されている。歴史文化、伝統行事等、地域の様々な資源を広く活用して活性化を促していく補助制度です。町民の皆様方からのもっと多くの申請、要望をすすめるものです。

編集後記

9月1日「総合防災訓練」が実施された。今年の訓練は、今までとは異なる訓練であり、3月11日の東日本大震災の教訓を基に津波を想定した訓練が主で各地区では真剣であった。参加総数、4,253人。必ず来ると言われている「東海地震」私達町民は、どの様に取り組みれば良いのだろうか。(吉田)